



# 国鉄新潟

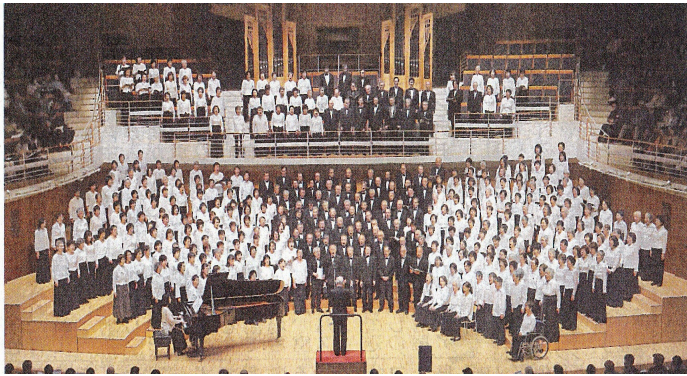
991 行  
 2019年  
 11月21日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 清野 聡  
 編集責任者  
 教 宣 部

## 平和を祈る・うたごえ

### 悪魔の飽食 第29回新潟公演

観客1400名

旧日本軍731部隊による戦争  
 犯罪を告発し、平和を祈る 混声  
 合唱組曲「悪魔の飽食」第29回全  
 国縦断コンサート「新潟公演」が10  
 月27日、新潟市民芸術文化会館りゅう  
 とびあコンサートホールで観客1



400名を集め開催されました。  
 開場の1時間以上前からすでにお客  
 さまが並び始め、次第にその列は長く  
 なりました。開場すると次々と埋まる  
 客席、すし勢でした。

#### 佐々木友子さんの ヴァイオリンの演奏



地元アーティストによる第一部  
 は美しい調べで観客を魅了した佐々  
 木友子さんのバイオリン演奏で始  
 まり、続く「えちごコラリアーズ」  
 はアカペラで澄んだ男声合唱ハー  
 モニーを響かせました。



#### 音楽を通して 平和を考え続ける



第二部は田中嘉治さん(日うた  
 全国協会会長)が進行役となった対  
 談では「日本が再び黒い色に塗り  
 つぶされようとしている」と作家・  
 森村誠一さんが語り、作曲家・池  
 辺晋一郎さんは「音楽を通して平  
 和を考え続けること」とお二人の  
 平和への思いがしっかりと伝わっ  
 てきました。

#### 鳴り止まない拍手 387名の合唱団



第三部は混声合唱組曲「悪魔の  
 飽食」の演奏です。地元・新潟県  
 の83名の合唱団に北海道から九州  
 の各県から駆けつけた全国合唱団  
 が加わりステージ上には総勢38  
 7名の歌い手が並び、池辺晋一郎  
 さんの指揮、志村泉さんのピアノ  
 で歌声を響かせました。

第7章を歌いあげると会場から  
 は地鳴りのような拍手と歓声が湧  
 き上がりました。  
 そこには目頭を押さえる歌い手  
 の姿と涙を拭う観客の姿もありま  
 した。鳴り止まない拍手の中、出  
 演者に花束が渡されました。  
 数年ぶりにコンサートに参加さ  
 れた森村誠一さんは花束を何度も  
 高く掲げ、感動の拍手に応えてい  
 ました。



## 地本・退職者激励会

11月23日(土)

## 地本会議室



# ちよつとつぷく

10月も中旬になり肌寒い季節になった。今日も秋山郷へ。天気は曇りの予報だったが少し陽が射して明るくなった。

## 12時過ぎに到着 ゆきぐくに食堂でお昼

お昼過ぎに到着し「ゆきぐくに食堂」へ行つてうどんを食べた。地元・栄村の新米も馳走になった。美味かった。

来る時、マイクロバス4〜5台とすれちがったのでお客さんがいっぱい来てると思ったが、聞いてみるとバスは通り過ぎてしまい少ないらしい。紅葉は色づいて山肌は綺麗だった。



「ゆきぐくに食堂」で切明温泉でイベントが開催されていることを聞き

お昼を食べてから切明温泉へ向かった。なめこ汁は最高



切明温泉に到着、会場は閑散としていた。なめこ汁を食べた。なめこがいっぱい入っていて、とても美味かった。1杯200円、どんぶりくらの器でいっぱいなめこが入っていた。

帰りになめこを注文した。店の人と、いろいろ話をした。秋山郷・栄村はバスが定期運行されていないためオンデマンドのバスが運行している。

料金は300円、1日に5往復している。もちろん冬季も運行している。高齢者が多いので大切な公共交通機関だ。

注文したなめこは明日、宿に届けられることに。助かった。



宿に15時過ぎに到着、女将さんは元気だった。台風の影響はと聞くと雨はいっぱい降ったが風は強く無かったので大きな災害にならなかったと話してた。

## 生ビールは最高だ

16時に楽養館へ行って温泉に入った。とても温まった。風呂上りの生ビールは最高だ。管理人さんと話しが弾んできたが、切り上げて帰ってきた。

暗くなるのが早くなり真っ暗になる前に帰って来たので生ビールは一杯だけになった。

台風の影響で奥志賀ルートが通行できなくなった。何箇所か土砂崩れで通行止めになった。今シーズンは終わりで来年5月まで閉鎖になる。これで、お客さんの数が減少する。

宿の夕食は18時から、素晴らしい夕食だった。食べきれないくらい品数でいつも圧倒される。幸せなひとときだ。

今日は、ビール2本(大)と酒を2台飲んだ。

いつも夕食の時は、女将さんから地元の話をしてくれる。昔の話もある。秋山郷・栄村のことなど。

## のよさの里へ

昨日の夜から雨が降り続けている。寒い朝になった。今日は「のよさの里」へ行く予定だ。雨の中走るのは少し迷った。

栄村には移住する方々が住んでいる。各地区では移住した若い人達が冬季など高齢者自宅の除雪や雪下ろしを手伝っている。とても助かっている。年間を通していろいろなボランティアをしている。素晴らしいことだと感動した。

これは、いつも「とねんぼ」秋山支所で書いている。もうすぐ9時になる。これから「のよさの里」へ車を走らせる。



右の写真は楽養館の温泉・湯船。お湯が赤く見えるが、お湯の色は透明で空気にふれると赤くなる。不思議だ。この温泉は、とても温まる。楽養館は11月17日で営業は終了し、来年の5月まで休館になる。

秋山郷・栄村の日帰り温泉施設は11月中旬までに営業は終了し来年の5月まで休みになってしまう。どれだけ雪が降るのか想像がつく。これから厳しい冬をむかえる。でも栄村の人たちはたくましい。

## 編集後記

「ちよつとつぷく」は秋山郷・栄村を特集してきました。あと2回くらいで秋山郷の特集は終了しますが、内容を変更し続けていきたいと考えています。

栄村へは今年の5月から、地元の人たちと交流する場を精力的につくっている話を伺ってきました。大変な環境の中で生活をしていきますが、そう感じさせない、たくましさがありました。80歳、90歳代の高齢者の方々はとつても元気です。